

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公開番号】特開 2016-6497 (P2016-6497A)

【公開日】平成 28 年 1 月 14 日 (2016.1.14)

【年通号数】公開・登録公報 2016-003

【出願番号】特願 2015-101487 (P2015-101487)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 27 日 (2017.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー像を担持する第 1 の像担持体と、

前記第 1 の像担持体に形成されたトナー像を第 2 の像担持体に転写する転写手段と、

前記第 2 の像担持体にトナー像を転写するために、前記転写手段に対して所定の電流又は所定の電圧を印加する印加手段と、

前記印加手段により印加される前記所定の電流に対する電圧値、又は前記所定の電圧に対する電流値を検知する検知手段と、

環境を検知する環境検知手段と、

前記検知手段の検知結果が、前記環境検知手段の検知結果に基づいて選択された所定範囲であるかに応じて、前記印加手段が印加する前記所定の電流又は前記所定の電圧の値を決定する制御手段と、

を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記環境検知手段は温湿度を検知する温湿度センサ又は気圧を検知する気圧センサであることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記検知手段の検知結果が前記所定範囲でないときは、前記印加手段が印加する前記所定の電流又は前記所定の電圧の値を下げることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記検知手段の検知結果が前記所定範囲であるときは、前記検知手段の検知結果に基づいて、トナー像を転写する際の前記印加手段が前記転写手段に印加する電流又は電圧の値を決定することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記検知手段の検知結果が前記所定範囲であるときは、前記印加手段が印加する前記所定の電流又は前記所定の電圧の値を上げることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記所定の電流又は前記所定の電圧の値を上げて印加した際の前記検知手段の検知結果に基づいて、トナー像を転写する際の前記印加手段が前記転写手段に印加する電流又は電圧の値を決定することを特徴とする請求項５に記載の画像形成装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本発明は、上記の課題に鑑み、転写手段に異常放電の発生をさせること無く印加して、画像形成することができる画像形成装置を提供することにある。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

上記の目的を達成するため、本発明は、トナー像を担持する第１の像担持体と、前記第１の像担持体に形成されたトナー像を第２の像担持体に転写する転写手段と、前記第２の像担持体にトナー像を転写するために、前記転写手段に対して所定の電流又は所定の電圧を印加する印加手段と、前記印加手段により印加される前記所定の電流に対する電圧値、又は前記所定の電圧に対する電流値を検知する検知手段と、環境を検知する環境検知手段と、前記検知手段の検知結果が、前記環境検知手段の検知結果に基づいて選択された所定範囲であるかに応じて、前記印加手段が印加する前記所定の電流又は前記所定の電圧の値を決定する制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

本発明によれば、転写手段に異常放電の発生をさせること無く印加して、画像形成することができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

シートカセット１７には、記録媒体であるシート１６が収納されている。このシート１６は、給送ローラ１５の回転によって搬送ローラ対８に搬送される。搬送ローラ対８を通過したシート１６は、さらにレジストローラ対１０に搬送される。レジストローラ対１０は、転写手段である転写ローラ５と感光ドラム１とのニップ部にシート１６を搬送する。このニップ部とは、ＯＰＣやａ－Ｓｉ等の光導電層を有する第１の像担持体である感光ドラム１上に形成されたトナー像を第２の像担持体としてのシート１６に転写させる部位であって、転写ニップ部という。